

試験研究成果普及情報

部門	資源管理・増養殖	対象	普及・研究
課題名：「関東・東海海域漁海況速報」（試行版：平成19年10月～）について			
[要約]これまで、東京・神奈川・静岡・千葉の一都三県で発行してきた「一都三県漁海況速報」を、さらに広域に・高精度に・見やすい海況図とするため、東京・神奈川・静岡・三重・和歌山・千葉の各都県水試、東京海洋大学、千葉県沿岸小型漁協などの業界が共同で「関東・東海海域漁海況速報」を開発し、試行版として公開する。			
キーワード 水温情報、広域、漁海況速報			
実施機関名 水産総合研究センター 資源研究室			
実施期間 2005年度～2007年度			

[目的及び背景]

操業の安全や生産性向上のため、漁業者からは日単位の高精度な海況図が求められているが、衛星の赤外線画像を利用したこれまでの海況図は、実測水温との整合が不十分で解像度も低く、さらには雲の影響により情報の取得が不安定となっていた。

このため、新たな水温情報として衛星によるマイクロ波の水温データを利用するとともに、衛星データと実測値を同化させるプログラムを開発することで、高精度な海況図を作成・提供する。

[成果内容]

1. 沿岸漁業の操業支援を目的として、これまで一都三県で発行してきた「一都三県漁海況速報」を、さらに広域に・高精度に・見やすい海況図とするため、東京・神奈川・静岡・三重・和歌山・千葉の各都県水試、東京海洋大学、千葉県沿岸小型漁協などの業界が共同で、「関東・東海海域漁海況速報」を開発した。
2. 海況図作成のための新たな情報として、衛星がマイクロ波により観測したデータも活用するとともに、従来の赤外線による観測データ等と合わせて、実測値に同化させるプログラムを開発したことで、より詳細な水温表示が可能となった（1℃間隔→0.5℃間隔）。
3. カラー表示が可能となるとともに、一都六県で共同して海況図を作成することで、より広範囲(高知県～犬吠埼沖)の情報提供が可能となった。また、海況図は、カラー版と白黒版、広域版と千葉県周辺拡大版(図1～4)の4種類があり、ユーザーが選択できるようになっている。
4. 10月から、試行版としてホームページで公開しており、本格運用は、平成20年4月を予定している。

[留意事項]

[普及対象地域]

県下全域

[行政上の措置]

[普及状況]

「関東・東海海域漁海況速報（土日・祝日を除く毎日発行）」

[成果の概要]

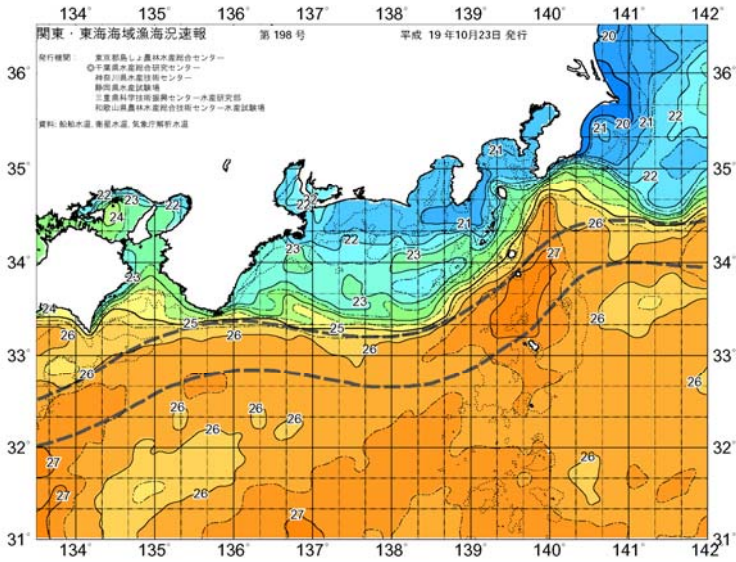


図1 カラー広域版

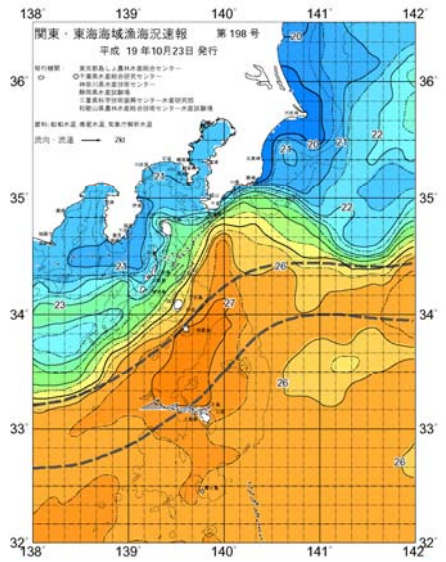


図2 カラー千葉県周辺拡大版

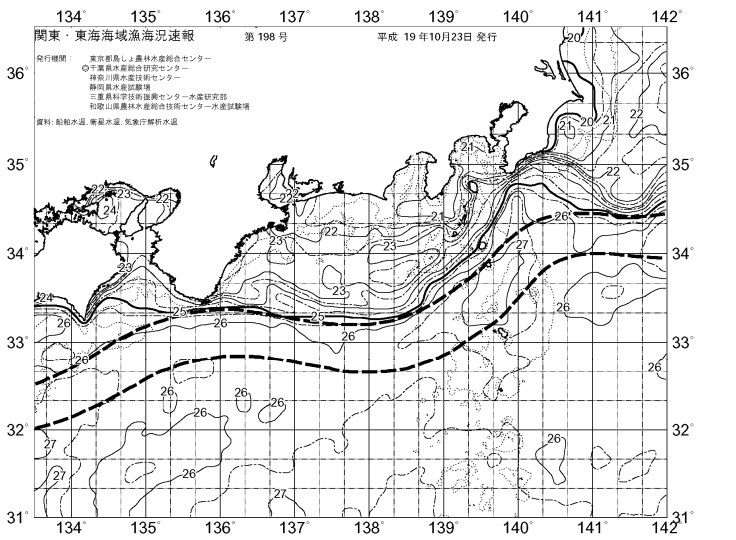


図3 白黒広域版

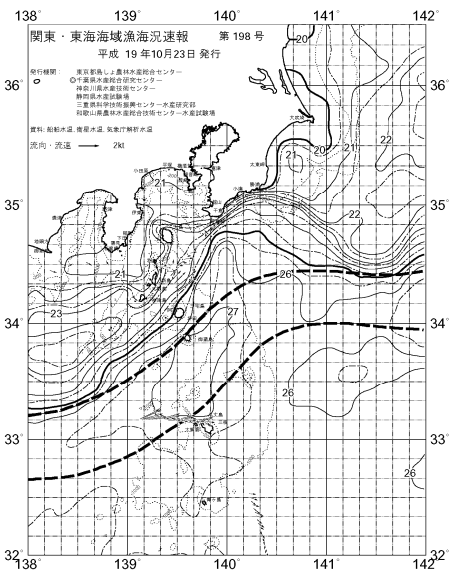


図4 白黒千葉県周辺拡大版

[発表及び関連文献]

[その他]